

ひろしま神楽 定期公演 2025 9月24日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 会場内での**飲食は禁止**とさせていただきます。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様は舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方は、お子様から目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。
- (4) 客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
※ビデオカメラなどを使用しての動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用しての撮影は禁止どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

伊賀和志神楽団【三次市】

伊賀和志神楽団は広島県の北部を流れる江の川沿いの三次市作木町にあります。江戸時代の終わり頃から活動していると推定されます。地元の伊賀和志天満宮の秋の大祭や各地の氏神祭や祈願祭などで神前において盛大に神楽が奉納され、代々土地の有志によって伝承されてきました。

昭和35年からは郷土芸能伝承活動として作木中学校に神楽の指導を続けております。

また、令和5年2月には東京NHKホールで行われた地域伝統芸能まつりに出演しました。平成28年9月から伊賀和志子供神楽団を結成して毎週練習を頑張り、地元の祭りやイベントなどに参加して発表しております。

鍾馗 しょうき

「鍾馗」は中国や日本に伝わる魔除けの神様です。備後風土記には、みすほらしい姿の武神(むとうしん)が一夜の宿を頼み、貧しいながらも温かくもてなした家族に「茅の輪(ちのわ)」を腰に巻くよう言い残し、村中に疫病が流行った際にその家族は助かったという伝説があります。

神楽の演目「鍾馗」はこの伝説などから創作された物語で、須佐之男命(すさのおのみこと)の化身が鍾馗大神と名乗り、民の命を奪おうとする大疫神(だいえきしん＝疫病の神)と戦います。

姿なき大疫神を左手に持つ茅の輪で捕らえ、右手の剣で見事退治する物語です。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

スマートフォン・携帯電話を使用しての動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS 等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用しての撮影
- 撮影された画像・動画の営利目的での使用および2分以上の公開



#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう！

ひろしま神楽の魅力を発信してください！！

大	太	鼓	一	藤岡	勝美
小	太	鼓	一	下岡	浩之
手	打	鐘	一	岩岡	勝己
	笛		一	岩岡	奏絵

須佐之男命	一	佐伯	洋哉
大疫神	一	小田	将貴

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成：一般財団法人地域創造



その半券
捨てないで!!!
**お得な
特典!**

「ひろしま神楽定期公演」の半券を
神楽門前湯治村に持っていくと
入浴施設・岩戸屋の
入浴料¥100割引
※他の割引と併用はできません。※2025年12月24日まで有効

神楽門前湯治村で観覧される
定期公演(大会を除く)の半券を
「ひろしま神楽定期公演」に
持っていくと
当日券入場料
¥100割引
※2025年12月24日まで有効

アンケートにご協力ください！

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後の参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力をお願いいたします。



こちらから
ご回答ください